

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	国分寺市立児童発達支援センターつくしんぼ			
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名 (17世帯)	(回答者数)	17世帯
○従業者評価実施期間	令和8年1月6日		～	令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもにとって過ごしやすくわかりやすい環境	子どもにとってわかりやすいよう、絵カードの掲示や一日の流れ等示している。 写真カードを使用して、子どもの気持ちを表出できるように場面場面で使用しながら、職員が言葉を添え伝えている。 活動も静と動の活動を交互に行う等メリハリをつけている。	
2	子どもの情報を共有しながら、プログラムを検討し実施している	専門の先生(ST・SI)からの助言や日々の課題、取り組んでいることを共有し活動を組み立てている。	
3	連絡帳アプリの導入により、保護者との連絡・情報の共有がしやすくなった	・連絡帳が紙からアプリになり、療育中に焦らず記入しなくてよかった分、じっくりと子どもの様子を伝えられるようになった。 ・行事の出欠、書類の配布がアプリ上でできるようになったことで、職員の負担が少なくなっている。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に関する周知	事業所の安全計画、災害時のマニュアル等職員へ周知、訓練を行っていますが、保護者の方への周知方法や取り組みに関しては工夫をする必要がある。	保護者の方にわかりやすく内容をお伝えする、実際の災害時を想定した訓練を実施していく。
2	連絡帳アプリのさらなる利用の促進	連絡帳、バス運行、写真販売、メッセージ以外の機能の活用ができなかった。	さらに利用できる機能を検討し、職員への操作の周知をしながら取り組んでいく。
3			